

GREEN RANGER NEWS

2023年10月号 Vol.353



NPO 法人蔵王のブナと水を守る会事務局
〒989-0231
宮城県白石市福岡蔵本字滝下102
URL <http://www.zao.org/>
e-mail mail@zao.org

■9月の活動報告

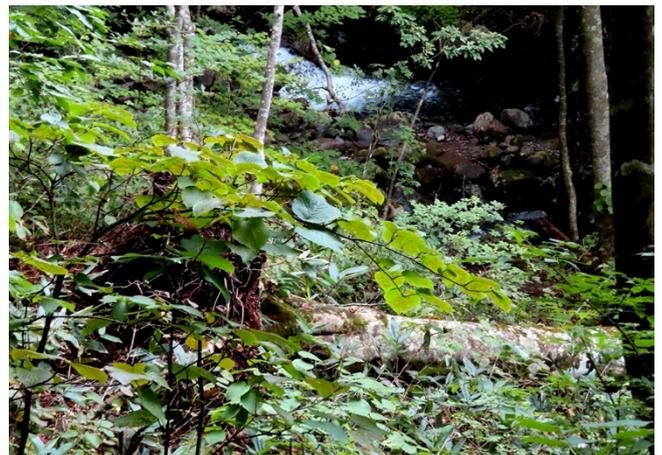
・9月10日(日)白石スキー場の植生観察、垂清沢のブナ林観察

待ちに待った雨が9月4日から漸く降ってくれ、仙台市荒浜海岸の植林木も息を吹き返えてくれているかと思うと、初めての垂清沢の観察もワクワクである。山林の中は、曇り空のせいばかりでなく薄暗い。ブナだけではなく、いろんな樹種が林立している。途中、急に明るくなった。沢沿いの太いブナが倒れている。この1本のブナが役目を全うして、その周りからいろんな樹種の若苗が太陽に向かって顔を上げている。こうして絶えず、山林は洪水を軽減し、渇水を緩和し、水質を浄化し、里や海を豊かにしてくれているのだろう。色んな草花にも合い、豊かに流れる水が心地よい。

作業小屋に戻る。昼食後、食料獲得班と動物カメラ班になんとか分かれる。食料と言っても、この日照りと暑さではまともに果実を熟させてくれはしないだろう。小さく、早めに色だけを付けているものが多い様に思う。ところが、小さなヤマナシをみんなでいただいたら、甘くて美味しかった。カメラ班は、4週目の収集となるので気になる。チラッと覗くに、彩遊の森水場ではイノシシたちが水を求めて来てるらしい。ウリ坊がいっぱい闊歩してるみたいだとか。参加者:10名



山林や植物などの説明を受ける



ブナの倒木に遭う

・9月24日(日)全観察路を歩き、昨年の記録を基に各ポイントに名前を付ける

雨は落ち着いたが、日照りで色が変わった広葉樹の葉は元に戻らず、落葉。そんな風景を見ながら登って行くと、作業小屋付近から草刈り機の音が聞こえて来た。今日の予定は近々ある枝打ちと間伐の下見とカメラのSDcardの取替に変更。アナグマの森では、前会の動画で観たイノシシ・アナグマ・クマなどが、さらによく写ってくれと映像の邪魔になっていたチマキザサを2本ばかり切ってやった。が、不審に思われ、仇にならないかと心配になる。リスの森のウワミズザクラ数本に今年のクマの爪痕、痛々しい。来年は、このクマたちを撮ってやろうと話していたら、下見のメンバーと出会った。下見もしてるのだろうが、茸を探しているようにも見える。長雨の後、茸たちの成長チャンスに出くわしてしまったようである。移動して、彩遊の森の設置も終り、作業小屋に戻ると下見班は茸を並べて図鑑と首っ引きである。お腹がすいたからと昼ご飯を先にする。

午後、観察路のポイントコースの確認作業と、散策に分かれる。茸熱は下がらず、ほぼ林床を見て歩く。タマゴタケが目につく、美味しいのだとか、本当だろうか。好みの茸は、まだ見えない。
参加者:5名



イノシシの親子



キノコ

■今後の活動について

[例会]

日時:10月8日(日) 10:00

場所:作業小屋

内容:ヤマハンノキ間伐

[例会]

日時:10月22日(日) 10:00

場所:作業小屋

内容:ヤマハンノキ間伐